“ふじのくに美しく品格のある邑”から季節の情報を発信

季刊誌「むらのおと」

Vol.33

2022.Spring

mura note file

むらの声

- ●坂部（牧之原市）
- ●茂畑（静岡市）
- ●大賀茂（下田市）
- ●潮騒響くたまねぎの里篠原（浜松市）
- ●朝比奈（御前崎市）

しずおかの邑づくり 10周年をむかえました

小谷あゆみのむらレポ Vol.24

キラリ☆邑びと

- ●天方（森町）

my viewpoint

- ●殿（藤枝市）

むらとりっぷ「南駿エリア」

Event Calender

TAKE FREE

季刊誌「むらのおと」 vol.33 2022 Spring

2022年3月30日発行
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合　〒420-8601　静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課　☎054-221-2714　FAX.054-221-2809

しずおか
農山村サポーター

むらサポ 募集

来て！食べて！見て！魅力いっぱいの農村を応援しよう

来て！
イベントや農業体験、ボランティア活動

見て！
棚田や茶園、花畑など季節の美しい景観

食べて！
旬な農産物や特産品

オフィシャルウェブサイト
www.shizuoka-murasapo.net
しずおか　むらサポ　検索

地域の情報が一目でまるわかり！

◎登録すると、農村の旬な情報が満載のメールマガジンが配信されます。

◎毎週木曜日に配信！登録費・年会費は無料！

むらサポ しずおか 農山村サポーター

Facebook
www.facebook.com/shizuokamurasapo/
しずおか農山村サポーター「むらサポ」

Instagram
www.instagram.com/murasapo/

ふじのくに 美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in “FUJINOKUNI”
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合

オフィシャルウェブサイト
http://www.fujinokuni-mura.net
美しく品格のある邑　検索

Facebook
www.facebook.com/muradoki/
ふじのくに美しく品格のある邑づくり情報発信チーム『邑ドキッ！』

むらのおと

33

2022 Spring

CONTENTS

むらの声 mura note file

03 #01 坂部（牧之原市）

05 #02 茂畑（静岡市）

07 #03 大賀茂（下田市）

09 #04 潮騒響くたまねぎの里篠原（浜松市）

11 小谷あゆみのむらレポ Vol.24 朝比奈（御前崎市）

13 キラリ☆邑びと 天方（森町）

14 my viewpoint 殿（藤枝市）

15 むらとりっぷ【南駿エリア】
- 浮島（沼津市）
- 久米田（清水町）
- 深良地区（裾野市）
- 三島箱根西麓地区（三島市）
- 上長窪地区（長泉町）
- 丹那（函南町）
- 中郷地区（三島市）
- 山田川自然の里（三島市）
- パノラマ遊花の里（裾野市）

17 イベントカレンダー

表紙／那賀地区〈松崎町〉

大沢温泉から那賀川河口に至る6kmの堤では、3月下旬から4月中旬にかけ、約1200本のソメイヨシノが咲き誇ります。開花期間中はライトアップも行われ、毎年多くの花見客が訪れます。（第6回静岡県農村の魅力フォトコンテスト入賞作品／「春爛漫」藤井駒一）

そよかぜ広場（掛川市）

しずおかの邑づくり 10周年をむかえました

登録150邑

〈令和4年3月現在〉

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

邑名/P 記事掲載邑
新登録 新登録邑

ふじのくに美しく品格のある邑って？

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる文化や伝統が息づく地域それぞれの「宝（資源）」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域（邑）です。平成24年度に県内35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和4年3月現在で150地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性はさまざまです。

周辺環境だけに留まらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、150の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。

「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。

ふじのくに美しく品格のある邑ホームページ

Shizuoka

東部地域 30邑
- 小山町
- 金太郎産湯の里 湯船
- 五感で癒される湧水の里いのかしら
- 上野美農里の会
- 所領
- 吉久保日吉の里
- 西澤水系
- 天子ヶ岳の里
- 白糸の里
- 御殿場市
- 沼田ロマンチック街道
- 二子湧水の里
- 南条の里
- 柚野の里
- せせらぎ中清水
- 富士宮市
- パノラマ遊花の里 / P16
- 羽鮒の里
- 大淵笹場
- 裾野市
- 深良地区 / P15
- 岩本山とかりがね堤を守る邑
- 新登録
- 上長窪地区 / P16
- はるやま21
- 内房の里
- 富士市
- 沼津市
- 三島市
- 山田川自然の里 / P16
- 浮島 / P15
- 中郷地区 / P16
- 三島箱根西麓地区 / P15
- 浜石岳と八千代の桜
- 富士山のふもとの郷を守る邑
- 久米田 / P15
- 丹那 / P16
- 函南町
- 熱海市
- 韮山多田
- 日本一のだいだいの里「多賀」
- 韮山金谷
- 浮橋
- 伊豆の国市
- 寿太郎みかんのふるさと 西浦
- 夢むら井田
- 新登録
- 戸田
- 桂流コシヒカリのふる里
- 富戸吉田
- 伊豆市
- 十足
- 伊豆月ヶ瀬梅の里
- 伊東市
- 日本一の水わさびの邑
- いずのやね茅野
- 大川
- 宇久須
- 東伊豆町
- 奈良本
- 西伊豆町
- 河津町
- 中
- 上佐ヶ野わくわくの里
- 伊豆見高入谷高原
- 那賀地区
- 松崎町
- 石部赤根田村百笑の里
- 下田市
- 加増野
- 下大沢
- 伊浜地区
- 大賀茂 / P07
- 南伊豆町
- 海の里 吉田村
- 日野 元気な百姓達の里

伊豆地域 25邑

中部地域 44邑
- 大代
- 梅ヶ島
- 有東木
- 川根本町
- 大沢地区
- 水窪地区
- 池の谷・閑蔵
- 玉川
- 清水区西里
- 布沢
- 浜石岳と八千代の桜
- 奥藤科・大川
- 奥長島（足久保）
- 新登録
- 足久保
- 徳山
- 原・新丹谷
- 茂畑 / P05
- 清沢
- 水見色
- 静岡市
- 西部地域 51邑
- そばの里づくり佐久間
- はるの山の村
- けっこい瀬平
- 縁結びの村くのわき
- ささま
- 新登録
- 小瀬戸
- 新登録 玉取
- 地名
- 市之瀬
- 殿 / P14
- 抜里
- 越地
- いくみ
- 小坂
- 夢未来くんま
- ほっと龍山
- 大好き！渋川
- 島田市
- 葉梨山水会
- 花桃の里
- ひずるしい鎮玉
- 歴史と自然が奏でる里山 三倉
- 本郷
- 岡部本郷
- 神座鵜網
- 滝沢・滝ノ谷
- 方ノ上
- いっぷく処 横川
- 久留女木の棚田 ～竜宮小僧伝説の邑～
- 竜ヶ石山～西四村の里～
- 天方 / P13
- 藤枝市
- 焼津市
- 茶文字の里 東山
- 一の宮の里
- 都田地区
- 森町
- 報徳・温泉・農業の里 倉真
- 間の宿 菊川
- 東町
- 中の島
- 敷地村
- 森町南部
- 三ヶ日みかんの里
- 銅鐸と水田のふるさと中川
- 源氏とひまわりの里
- 深蒸し茶と東海道宿場の里 日坂
- 湯日
- 西島
- 千框の棚田
- 吉田たんぼ
- 神座里山多夢の会
- 和地ふるさと会
- 中都地区
- 岩田
- 袋井市
- 東山口・西山口
- 掛川市
- 吉田町
- 新所水とみどりのプロジェクト
- 掛川天守をのぞむ里
- 蛭ケ谷
- 坂部 / P03
- 日本一前向きな地区!前向
- 村柳地区
- 浜松市
- 中ノ町地区
- とんぼの里
- 岩井
- 牧之原市
- 佐吉の里・山口
- 田原地区
- こがね色の里
- 菊川市
- 湖西市
- 大塚地区
- 磐田市
- 高天神の里
- 菅山原
- カカシ祭りの里 新野
- どうもんの里
- 朝比奈 / P11
- らびりんすゆうとう
- 御前崎市
- 美竹林と極旨野菜の里
- 潮騒響くたまねぎの里 篠原 / P09
- いまい保全の会
- 諸井里山の会
- 地域いきいき共生！恩地町環境みどり会
- 御田用水の里
- そよかぜ広場

「愛♡幸せ」を目指して次は「道の駅」をつくる

富士山静岡空港の開港からスタートした邑づくりのお手本となる邑づくり、いよいよ本番!

もうすぐできる「道の駅」で待ってます

県の空の玄関であり、年間100万人以上が訪れる富士山静岡空港。その南東へ伸びるアクセス道路に「道の駅」が2024年度オープン予定です。私は坂部の魅力をここに集結したいと考え、すでに邑のIT機器も再構築し、新たなWeb拠点としてさらなる情報発信に努めています。ぜひ遊びに来てください。

邑びとメッセージ

板倉元さん

坂部で生まれ育ち、榛原町役場に奉職。合併後も牧之原市役所で主に福祉、企画を担当。定年退職後10年間、高齢者福祉施設で働いたのち坂部区区長に。坂部まちづくり実行委員会代表。榛原里やまの会会員。

空港の展望デッキに隣接した場所で、朝採れ野菜を手頃なプライスで販売。営業日には行列ができます。(通常営業日は土日祝11:00~15:00
※現在コロナ禍でお休み中)

坂部(さかべ)

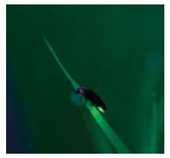
牧之原市坂部508-1
(坂部区民センター)

●車／東名高速吉田ICから県道79号を西へ約10分
●公共交通機関／富士山静岡空港から徒歩約20分

空港の展望デッキで愛嬌を振りまく「さかべっち」。坂部のシンボルとして邑人の名刺、公式ホームページやFacebookに登場し、イベントでも大活躍しています。

Facebook YouTube

EVENT INFORMATION



ホタルの鑑賞会
【毎年5月下旬~6月上旬】
●会場／水ヶ谷ふれあい公園、堂ヶ谷、赤坂
●内容／ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルと世界でも珍しい3種のホタルが舞い、遠方からも多くの人が訪れます。

見に来て!

早咲き桜の新名所「坂口谷川河津桜祭」

2月中旬から河津桜が川沿い500mにわたり咲き乱れます。提灯が灯された夜桜も見事。元JA坂部支店跡地の会場で各農家が軽トラの荷台に農産物を並べて販売する「軽トラ市」が人気です。※コロナ禍により中止の場合もあり。

歩いてみて!

石雲院(せきうんいん)を巡る散策路

展望デッキと空港駐車場をつなぐコース。散策の目玉は石雲院で、山門屋根裏の二重垂木は日光東照宮を模したもの。本堂「龍門の滝」の彫刻も見逃せません。農産物直売所「飛翔軒」(現在休業中)も行列ができるほど人気!

2005年榛原町と相良町が合併して牧之原市が生まれ、2009年富士山静岡空港が開港し、坂部は空港隣接の邑として新たな物語を綴り始めました。ふるさとを見つめ直した邑人たちは思いや考えを出し合い、2013年同市初のまちづくり計画「愛♡幸せ さわやか坂部」を打ち出しました。以来、人口減少や自然災害に備える「絆づくり事業」とも歩調を合わせ、「愛♡幸せ」を目指し続けています。

こうした歩みから生まれた一つに、ゆるキャラ「さかべっち」があります。顔はみかん、体はレタス、手足はお茶で、ほっぺに♡。ゆるキャラグランプリにも出場しました。また、邑のホームページ、Facebook、YouTubeを立ち上げたことも見逃せません。小さな自治体が独自のゆるキャラを持ち、SNSで情報発信する例はあまり見かけないのではないでしょうか。

基幹産業の農業でも高齢化や後継者不足にきちんと向き合っています。米の裏作にレタスを取り入れただけでなく、まちづくり実行委員会の「坂部農援隊」が新しい特産品の研究に着手。休耕地を借り上げ、様々な新作物を試験栽培し、産地化に適したものを模索中です。同時に、水田に畑作物を栽培すべく、ほぼ全域で暗渠排水事業(地下に管を埋めて排水する工事)も推進しています。

坂部にはゲンジ、ヘイケ、ヒメと世界でも珍しい3種のホタルがそろって生息しています。この豊かな環境を守り継承しようと「榛原里やまの会」は坂部小学校の児童たちに水辺観察会や田植え・稲刈り体験を定期的に開いています。他にも多様なコミュニティが形成され、ネットワークで連携し、前進を続ける坂部。その協働のあり方・進め方は2016年知事顕彰に輝きました。邑づくりの優れた先導事例として評価された証です。

「自然を大事にしながら、空港とともに地域の発展に尽くしていきたい」と区長の板倉さん。そんな坂部が以前から待ち望んでいた夢がもうすぐ叶えられます。空港アクセス道路に「道の駅」が2024年度開設予定。次はどんな「愛♡幸せ」が描かれるでしょうか。

坂部のお茶は日当たりが良いお陰で芽の出るのが早く、古くから深蒸し茶のブランドになっています。

❶お米の裏作にレタスを栽培し、邑の新たな特産品になりました。最近はとうもろこしを栽培する農家も増えています。
❷米づくりのため、明治時代に整備された本間用水。隧道の吐口部は牧之原市の指定文化財。
❸収穫されたお米は坂部小学校で食べるほか、餅米は餅つきをして全校児童でいただきます。

mura note file
むらの声 #02

農業の豊かさと美しさを守ることから逃げません

農用地と四季の行事を保全することは別天地のような景色を次代へ継承することです

左からJA清水茂畑運営委員長の杉山政弘さん、もばた文化塾塾長の杉山正明さん、自治会長の杉山勉さん、茂畑みどり保全会役員の杉山嘉広さん、茂畑みどり保全会代表の杉山覚さん。

柑橘や梨など落葉果樹の生態調査や生産加工技術を研究している「静岡県果樹研究センター」との協働も今後の課題の一つ。

茂畑のそば畑。子ども会と協働で、地域の小学生たちに、そばの栽培・収穫・そば打ち体験も提供しています。

邑人たちが思い思いに描いた燈篭を波多打川のせせらぎに流します。

茂畑 もばた

静岡市清水区茂畑247-1（茂畑自治会館）

- 車／JR清水駅から約20分、東名高速清水ICから約15分
- 電車・バス／JR清水駅からしずてつジャストラインバス茂畑行き「茂畑」下車

EVENT INFORMATION

茂畑 秋の味覚祭

【毎年11月第1日曜】

- 会場／茂畑自治会館
- 内容／地元農産物の販売、手打ちそば、おでんなどの出店。波多打川の臨時マス釣り場は親子連れの行列ができるほど。※コロナ禍により中止の場合もあり。

「秋の味覚祭」のマス釣り大会

忙しい新茶の収穫期が過ぎると、邑を流れる波多打川にホタルが舞い始めます。お盆にはそのせせらぎに自治会が先祖供養の「川施（かわせ）餓鬼（がき）」を催し、邑人たちが絵を描いた流し灯篭が揺らめきます。秋も深まる頃には「もばた文化塾」が「秋の味覚祭」を開き、多くの人が訪れて農産物販売所や臨時マス釣り場に歓声が響きます。そしてお正月には子ども会のお世話によって昔ながらのどんど焼きが行われます。その中でも茶畑が若葉色に萌え立つ初夏と、みかんが斜面に色づく晩秋は、駿河湾を見晴らす眺望と相まって、まるで別天地のような景色が広がります。自然環境と共生する農業の到達点といっても過言ではありません。

この邑でも高齢化や農業人口の減少は避けて通れない問題となっています。先人から受け継いだ農業を守ろうと立ち上がったのが「茂畑みどり保全会」です。まず取り組んだのは耕作放棄地に夢のある対策を講じ、若い人が農業を継ぎやすいようにすること。そこでアーモンドの苗木を100本近く植え、試験栽培を始めました。上手くいけば商品化し、家業を継いだ若手たちの支援策にしたいと意気込んでいます。小さな桜のような花を咲かせるアーモンドは8月が収穫期。苗の間に花桃を植え、蜜蜂による受粉も取り入れ、ようやく実がなるまでにこぎつけました。この試みが上手くいかなくても、「新しいことへのチャレンジは続けていきます」と同会のメンバーたちは意欲を燃やしています。

「楽しく活動できているので、自分の生き甲斐にもなっています」と代表の杉山覚さん。「みんな人柄がよく、仲もいい。まとまりを拠り所に頑張りたい」。「四季の行事を続けることで子や孫へ受け渡しでき、それが世代交代の第一歩になると思う」。「若い後継者も次第に増えてきたし、お嫁さんたちも邑に馴染んでくれている。逃げずに守っていきたい」。「茂畑みどり保全会」の取り組みは、これからが本番です。

❶清見寺(清水区興津)の「駿河清見のお茶」の古木は、かつて茂畑から移植されたものだそうです。
❷糖度の高い「ゆら早生」を新しい品種として植栽しています。
❸耕作放棄地の対策として、そばに続いてアーモンド栽培も開始。将来の商品化を目指しています。

歩いてみて!

絶景を満喫できる「農道ハイキング」

茂畑自治会館に車を停め、農道をのんびり歩いてみませんか。伊豆半島から清水港、日本平、駿河湾、御前崎までパノラマを満喫できるスポットへ1時間ほど。さらに初夏は茶畑、晩秋はみかんの彩りが見事です。

見に来て!

波多打川に舞う「ホタル」

かつては文字通り乱舞していたという波多打川のホタル。川の濁りでいったん途絶えそうになりましたが、最近徐々に復活してきました。6月の下旬頃、集落の住宅が途切れる辺りから上流部で見ることができるかも。

清水の街からすぐ! お茶とみかんの里山です

ご存知ない方も多いと思いますが、茂畑は清水の市街地から車で20分ほどのところ。のどかな里山の佇まいに「こんなところがあったのか!」と、きっと笑顔になられることと思います。茶畑がもっとも美しいのは4月終わり頃。みかんが色づく風景は9月末から11月一杯までが見頃です。ぜひ一度、足を運んでください。

邑びとメッセージ

杉山 覚さん

「茂畑みどり保全会」代表。高校卒業後、お茶、みかん、現在は主に榊を栽培。静岡県農業経営士を経て県知事から「名誉経営士」の称号を受ける。2021年「農林水産功労賞」受賞。

柿とみかんの里に未来の希望をつなぐ れんげ畑

皆がふれあい、郷土愛を育む年中行事を大切に

大賀茂
おおがも

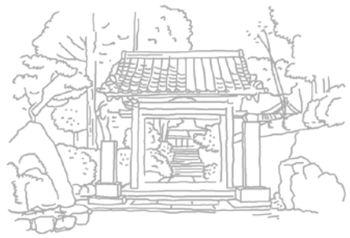
下田市大賀茂

●車／東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから約120分

●電車・バス／伊豆急行下田駅から東海バス「堀切」行き「金山」下車（れんげ畑付近）

毎年4月中下旬に開催される「大賀茂れんげ祭り」。地域の皆が手作りする祭典は、宝探しゲームやじゃんけん大会、各有志団体による出店もあり大盛況。

大賀茂大祭では、走湯神社で子ども相撲、山神社で若衆による３つの神楽を奉納。口伝で復活させた神楽は「下田まち遺産」に登録されています。



下田市の内陸に位置する大賀茂は、奥山の地でありながら5～6世紀頃の遺跡が残るなど、古代から人々の営みが続く自然豊かな邑。神が宿るとも言われる三倉山の麓には長閑な水田が広がる一方、秋から冬にかけては丘陵地をオレンジ色の果実が彩る「柿とみかんの里」でもあります。

そんな人の暮らしに適した邑は、道路が整備され、近年は郊外住宅地としても注目されていますが、移住者の中には後継者不足に悩む農地で新たに稲作を始める人もおり、圃場の維持にもつながっています。また、邑では年に1回、区民総出で地域の清掃活動を実施。みんなで協力して美しい里山の景色を守っています。

一方、地元愛の強い邑では、伝統文化や年中行事を大切にし、複数の有志団体が様々なイベントを企画開催することで地域を盛り上げています。目玉は、田植え前の圃場を活用した4月の風物詩「れんげ祭り」。平成6年に始まり、今や観光客を含め2000人超が集まる春の祭典は、地元小学生の南中ソーランや演舞や宝探しなどでにぎわいます。新型コロナの影響でこの2年は中止、令和4年の開催も厳しい状況ですが、再開の希望を抱いて種まきしたれんげは、きっと今年も一面を紅く染めて邑びとの心を和ませることでしょう。

秋の名物「大賀茂本祭」は、区内2つの神社の例大祭です。昔、蓮台寺の神様と湯を取り合ったという民話が残る走湯（そうとう）神社では子ども相撲を奉納し、山神社では「垂れの舞」「幣の舞」「梅川忠兵衛」の3種の神楽を披露。昭和38年に約60年ぶりに復活させた伝統神事を後世に継承しています。

その他、夏のラジオ体操や盆踊り大会、新盆の精霊流し、れんげ祭り会場を飾るクリスマスイルミネーション、小学生のしめ縄作り体験、正月のどんど焼きなど、一年を通して10を超す催事を実施。この伊豆の奥地に太古から里があるのは、人々が自然とともに祭りごとを楽しみ、力を合わせて笑顔で暮らしてきたからなのでしょう。

左から日吉金吾さん、八田部豊彦さん、斎藤徳男さん、田原整さん、佐藤敏郎さん。それぞれ区や地域振興会、三倉会、遊志会などの団体の主要メンバーとして活躍。

食べに来て!

大賀茂の柿とみかん

昔は約20軒の農家が観光農園を展開するほど「柿」と「みかん」の栽培が盛んな大賀茂地区。秋～冬の旬の時期には、下田市や南伊豆町の道の駅などで購入できるほか、個人でも販売。みかんは無農薬で50種類以上の品種を栽培する「どんぐり農園」（☎0558-23-3950）、柿は細井裕さん（☎0558-27-2321）に直接問い合わせ・注文できます。

様々な行事を開催し、皆笑顔で元気はつらつ!

「邑を少しでも元気にしよう」を合言葉に、区の役員や有志たちの尽力で、いろいろな行事を実施しています。大賀茂も少子高齢化が進んでいますが、老人クラブを中心にカラオケや詩吟などを毎月開催。皆元気はつらつ、笑顔が絶えません。邑人は皆、素朴で人懐っこく、都会にはない人と人のつながりを大切にしている地域です。

邑びとメッセージ

八田部 豊彦さん

大賀茂出身。もともと仕事人間の会社員で、大半は伊東・沼津・静岡方面で生活。65歳で引退後、大賀茂でのんびり暮らしていたところ、区長に就任。地域の取りまとめに尽力している。

❶毎年8月30日には地元寺院の住職を迎え、大賀茂川で新盆の精霊流しを催行。
❷冬の圃場を飾るイルミネーション。区民の期待に応え、年々規模が大きくなっているそう。
❸正月明けの年中行事「どんど焼き」では、毎年地元小学校の6年生がおんべに点火します。

mura note file
むらの声 #04

日本一早い「はるたま」はみんなで泥上げした宝物

100年続いた名産地の誇りに「自助活動」が根付いて早出し玉ねぎの新しいブランド誕生!!

JA出資による農業生産法人「とびあふぁー夢」との協働で耕作放棄地や遊休地がよみがえり、集約化が進み、農業未経験者も含めた若手新規就農者が増えています。

食べてみて!

丸かじりしても美味しい「はるたま」

日本一早い新玉ねぎ「はるたま」を味わってみませんか。1~3月頃、JAとびあ浜松の農産物直売所「ファーマーズマーケット」(浜松市南区寺脇町209)や近隣農家の無人販売所で販売しています。

❶根が浅く、乾燥に弱い玉ねぎは、水やりがとても大切。
❷「泥上げ」は玉ねぎ栽培の重要な工程。梅雨がやってくる前の5月と台風シーズンが終わる12月の年2回行うことで、地域住民の活発な交流に繋がっています。

潮騒響く たまねぎの里 篠原

しおさいひびくたまねぎのさと しのはら

浜松市 篠原舞阪南部土地改良区内

●車／JR浜松駅から約20分、東名高速浜松西ICから約15分
●電車・バス／JR浜松駅から遠鉄バス浜名線乗車「田畑」下車

遠州灘の海風は強い。冬から春先は特に厳しい。にもかかわらず、篠原の新玉ねぎは、ふんだんに降り注ぐ日差しと水はけのよい砂地の土壌、そして邑びとたちの惜しみない愛情ですくすく育ち、「日本一早い玉ねぎ」として出荷されています。しかし砂地ゆえに、巡らされた排水路は泥上げを怠ると詰まりやすく、根腐れを招きかねません。多面的機能支払金（地域の保全管理を支援する助成金制度）を活用し、この問題に立ち向かっているのが「潮騒響くたまねぎの里 篠原」です。「泥上げは想像以上の重労働。農業者の減少・高齢化に従い、大きな課題となっています」と同会代表の榊原政博さん。そこで呼びかけたのは「みんなで泥上げ」でした。

愛知県から種苗を譲り受け、栽培を始めてから、篠原の玉ねぎづくりは100年以上経ちました。かつては5月出荷でしたが、現在は年明け早々、早いものは年明け前から全国へ。早く育ち、早く収穫できる種を選抜し続けてきた先人の努力の賜にほかなりません。「裏作にさつまいも、冬瓜、落花生などもやっていますが、〝この地は玉ねぎしかない〟という思いが根強い」と榊原さん。

「みんなで泥上げ」の必要性は、邑びと共通の思いに訴えるしかありません。まず泥上げ期間は1週間に。週末を含めれば農業を継がなかった若い人も参加しやすいと考えたからです。次に「できるだけでいいですよ」。そして「自分の畑の水路だけ、できれば隣の農家さんと一緒に」と粘り強く働きかけました。公助に頼るだけでなく、自助や共助の大切さを説いたのです。こうした工夫の甲斐あって篠原の泥上げは年2回、約500名が参加する大規模なものになっています。

2020年、日本一早い篠原の新玉ねぎにブランド名が付きました。篠原小学校の児童たちから寄せられた「はるたま」です。100年積み重ねた伝統への誇りと愛着を原動力に、篠原の玉ねぎはますます知名度を高め、その先の新たな伝統づくりを目指しています。「はるたま」のブランドデビューは、その第一歩に過ぎません。

❸玉ねぎは高齢者にも扱いやすい農産物で、小さな規模の畑でも栽培できます。
❹ねぎの花「ねぎ坊主」から種を取り、早く成長するものを毎年選抜します。
❺早出しの玉ねぎは葉付きで出荷するため、その分手間がかかります。
❻「はるたま」の出荷。地元の篠原小学校の児童たちが名付け親です。篠原では「はるたま」のほか、「白い玉ねぎ」「アーリーレッド」も栽培されています。

種まき風景。種は門外不出、篠原独自のものです。

甘くフレッシュ! 丸かじりも美味しいですよ

「はるたま」は葉が青いうちに収穫する、希少な若採り品種です。全国的な知名度はまだこれからですが、辛みが少なく、みずみずしく、生食向きで、丸かじりしても美味しいですよ。年明けからスーパーの売場などに並びますので、ぜひ一度、料理に使ってみてください。

邑びとメッセージ

榊原 政博さん

坪井町出身。静岡県立高校卒業後、県庁に勤め、主に福祉関係の仕事に従事。定年退職後、小学生から手伝ってきた玉ねぎづくりの専業農家に。その傍ら、「潮騒響くたまねぎの里 篠原」代表を務めている。

歩いてみて!

富士山の眺望と潮騒満喫「防潮堤ウォーキング」

多くの寄附を原資に整備が進められてきた「浜松市沿岸域防潮堤（通称 一条堤）」。令和2年3月に天竜川河口から浜名湖今切口まで17.5kmが完成しました。富士山の眺めと遠州灘の潮騒を満喫しながら歩いてみませんか。

梅が満開の2月末。「あらさわふる里公園」にて。
左から増田剛巳さん、西原敏さん、鈴木一利さん

静岡県ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員

小谷あゆみの「むらレポ」Vol.24

小谷あゆみ

フリーアナウンサー／農業ジャーナリスト　野菜をつくるベジアナとして農ある暮らしの豊かさを提唱。全国の農村を取材。
ブログ「ベジアナの野菜畑チャンネル」
静岡県ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員、農林水産省世界農業遺産等専門家会議委員　棚田学会評議員

美しい景観は最大の強さ

あらさわふる里公園

住民の力で邑を変える美観は最大の地域保全

御前崎市北部に位置する朝比奈地区、豊かな水と緑に恵まれた「あらさわふる里公園」では、2月上旬から200本を超える紅白の梅が開花を迎え、季節を通して桜や菖蒲、アジサイなどの花々が訪れる人の目を楽しませてくれます。

この地に人々の集う交流拠点を平成13年に作った思いを、公園を管理する（有）グランパークあらさわ代表の西原敏さん（70）に伺いました。

「もともと『あらさわ』は、きれいな沢があったことから名付けられたそうです。地域に水を供給する重要な水源地だったのですが、あるときここに、産業廃棄物の最終処分場の計画が持ち上がったんです。これは大変だと町内会のみんなで反対して守った結果、計画が撤回されたということがありました。そこから住民が団結して地域の拠点を作ろうと、御前崎市と朝比奈町内会が出資して第3セクターで運営する農村公園が誕生したのです」。

美観は最大の防御策。四季の花でにぎわい、地域内外の人々に愛される場所にしておくことで地域を守る。これぞ、邑づくりの信条！だから、朝比奈の人たちは今も結束が強いのですね。

公園一番の収入源はバーベキューで

バーベキューで使用する炭焼きの窯もあります

140席ある広々とした バーベキュー施設

鯉のぼり、餅まき大会など季節ごとにイベントも開催

かって家」には、地元の野菜やお茶、タケノコ、ワラビなど旬の山菜、漬け物、加工品が並び、毎朝早くから出荷する農家でにぎわいます。

目下の課題は、周辺の荒廃農地です。高齢化で農作業できずにやめる人が増えてきたことから、有志17名で「あらさわ荒廃農地保全の会」を立ち上げ、県の補助事業を活用して農地の再生を始める計画です。

農業を担う鈴木一利さん（73）のもとでは、後継者の息子さんが（有）アグリサポート御前崎として法人化し、水稲、芽キャベツ、干し芋などを生産。今後は20～30代の若手4人を担い手として、水田も1人20haをめどに30年先まで耕作を続けていけるよう基盤整備する計画です。

開墾150年の歴史 朝比奈のお茶を世界へ

温暖な気候にめぐまれた牧の原台地の南端、御前崎で地域を挙げて取組んでいるのは早生品種「つゆひかり」です。色がきれいでまろやかな味、渋みが少ないことから、地元はもちろん海外の人にも好まれています。

実はこの地のお茶は、明治時代からアメリカなど へ輸出されていました。地元出身の政治家で実業家の丸尾文六は1871年（明治4年）、大井川への渡し船ができたことで失業した川越人足たちを雇って開拓し、朝比奈の地を一大茶園に築き上げたのです。昨年、開墾150周年を迎えた茶園を、今また世界へ発信しているのは「やまま満寿多園」代表の増田剛巳さん（68）。グローバルな認証をとって北米やアジアなど世界の国々へ輸出し、朝比奈茶を内外から盛り上げています。

花で彩る公園の美しさは、地域を守り継ぐ皆さんの心を表しています。周辺の茶園や農地に対する思いも同じでしょう。そうしたふるさとへの愛着と行動は、若い人たちにもきっと受け継がれます。

お茶の手もみ体験も！

茶園ピクニックでは茶園の中をウォーキングして手摘みの体験もできます！

海外へ輸出されるお茶

海外から茶園の視察も多いという増田さん

直販施設「ほい！かって家（御前崎市下朝比奈158-7）」では地域の特産品を購入できます。営業時間は8:00～15:30、木曜定休・年末年始休業

展望台から見た「あらさわふる里公園」
15.4haの敷地に様々な施設があります

す。ブランド和牛「遠州夢咲牛」BBQセットが評判で、多い時は1日に250人も訪れる人気コンテンツです。豊かな森林資源を生かして炭まで自家製で、今後はシイタケづくりも挑戦する予定です。

公園には地区を一望できる展望台、芝スキー場、多目的広場など様々な施設があり、直売所「ほい！

地域を挙げて栽培されるお茶「つゆひかり」

米栽培も盛んです！

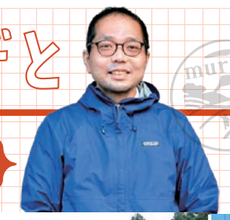
朝比奈 あさひな

御前崎市

●車／東名高速菊川ICから約20分、相良牧之原ICから約20分
●電車・バス／JR菊川駅からしずてつジャストラインバス菊川浜岡線「木ヶ谷」下車

キラリ★邑びと

新たな取組みで地域を盛り上げる邑びとを紹介します!今回は森町で地域の活性化に取り組む岩瀬進哉さんに話を聞いてきました!



森町移住コーディネーター
岩瀬 進哉さん

住んでみたい!と思える、魅力的なまちづくりを

ほどよい田舎に惹かれて移住

森町でゲストハウスの運営をしながら、移住コーディネーターを務める岩瀬さん。浜松市出身ですが、森町の魅力に惹かれ、2016年に森町へ移住し「地域おこし協力隊」に着任。地域の魅力発信や、グリーン・ツーリズムの推進などを担当しました。隊員の任期期間が決められており、任期後の仕事を考え「隊員のうちに仕事を作ろう!」と考えた岩瀬さん。森町に移住する前に、建築関係の仕事に就いていて、空き家改修に興味があったこと、またゲストハウスの運営が奥様の夢であったことから、2017年に自ら空き家をリノベーションして、ゲストハウス『森と町』をオープン。協力隊を終えた2019年からは、森町の「移住コーディネーター」として、移住したい人や、空き家を活用したい人たちの相談に応じています。

地域との「関わりしろ」を増やす

「色々な人に地域に関わってもらい、将来的に移住に繋がれば」という思いで、これまで様々な取り組みをしてきた岩瀬さん。棚田で田植えや稲刈りなどを体験できる『棚田交流会』や、森町を巡る『マウンテンバイクツアー』を企画し、地域内外から多くの人が参加しています。実際にイベントの参加者が、移住したという事例も出てきているようです。

また、2021年1月には、同級生3人で、(一社)モリマチリノベーションを設立し、参加型のワークショップなども開催しながら、空き家の利活用を進めています。

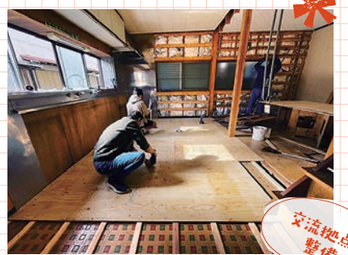
地域の人からも色々な相談が寄せられます。「フォトコンテストを実施してみたい!」「特産品のブルーベリーでビールを作れないか」などの相談を、一つずつ形にしてきました。「自分がメインより、地域の人がやっていることに協力したい」と話す岩瀬さん。

このような「関わりしろ」を増やす取り組みや、森町役場との連携を通して、2019年~2021年で19世帯32人が移住しました。

今後について岩瀬さんは、『移住定住者を増やすため、地域の人々と若い移住希望者が交流できる「交流拠点」を作る予定です。また、空き家を活用して個人商店を増やすことにも力を入れていきたいです』と語ります。住みたくなるようなまちづくりを目指す岩瀬さんの存在が、地域の人の活力にもなり、魅力的なまちづくりに繋がっています。

ゲストハウスの外観

ゲストハウス内の様子



天方
森町

●車／新東名高速森掛川ICから約10分、東名高速袋井ICから約30分
●電車・バス／天竜浜名湖鉄道遠州森駅から町営バス(予約制)アクティ森下車

外国人が見た邑のあれこれ my viewpoint

今回はやさしい日本語を使って邑を紹介します!

「やさしい日本語」は、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。外国人や、子供に伝わりやすい表現方法の一つです。

YouTube
「話そう、やさしい日本語。」

⬆虫送(むしおく)り ※前(まえ)に やった時(とき)の 写真(しゃしん)

藤枝駅から 北に 車で 30分ぐらいの 「殿」という 邑に 行きました。そこで 待っていたのは、川の そばに 広がる 美しい 景色と とても 高い 建物、それから お茶や 古い 文化を 楽しむことができる 「玉露の里」という 場所でした。

初めて 知った お茶の 楽しみ方

「玉露の里」では、「茶道〈=お茶を いれる 様子を 見てから お茶を 飲み、使った 茶碗の 美しさも 楽しむ お茶を 飲む 方法〉」の 体験が できます。お茶を いれる道具や、お茶の いれ方、飲み方を 丁寧に 教えてくれます。長い 時間 「正座〈=ひざを 曲げて 床に 座る〉」を したので 足が 少し 痛くなりました。ここでは、2つの 違う お茶を 飲みました。まずは、玉露〈=葉を とる前に 太陽の 光に あてないで 育てます。作っている 場所が とても 少ない 珍しい お茶〉です。玉露は、いつも 飲む お茶とは 全然 違いました。ちょっと 苦いけど、おいしい味もして、びっくりしました。次は 「抹茶〈=粉にした 葉を 使う お茶〉」です。茶碗を 回して 飲む 方法を 覚えました。どちらの お茶も おいしかったです。茶室〈=お茶を 飲むための とても 小さな 部屋〉にも 初めて 入りました。いい 思い出になりました。

インドネシアでは、緑色の お茶にも 砂糖を 入れるのが 普通ですが、砂糖を 入れない 場所も あります。その お茶のことを 「テータワル」と 言います。インドネシアの お茶の 畑は、木の 上が まっすぐになるように、お茶の葉を 切り取ります。

昔の 人から この先の 人へ つなぐ「虫送り」

ここには、昔から 続く 大切な 文化が あります。「虫送り」と「朝比奈大龍勢」です。虫送りは、悪い 虫が 田〈=米を 作るところ〉に つかないように 願う イベントです。大人と 子どもたちが 火のついた 棒を 持ち 田の 周りを 歩きます。二人の 肩を 使って かついだ 木の 枝に つけた 鐘を 鳴らして かけ声を かけながら、竹を 組んだ ところに 火を つけて 歩きます。

子どもたちの 夢を 乗せた 大きな ロケット花火

朝比奈大龍勢は とても とても とても 大きな ロケット花火(龍勢)を 空に あげる 祭りです。高い 発射台〈=花火を 上に あげる ための 場所〉から 龍勢が 空に あがっていき、爆発して、パラシュートが 開きます。パラシュートには 子どもたちの 夢や 絵が 書いてあります。ディニーアさんも、みんなで 作った 龍勢に、夢や 希望を 乗せていることに 感動していました。

2年に 一度の 祭りで、来年の 秋に、祭りが あります。必ず 自分の 目で 見たいと、思いました。

静岡県くらし・環境部 多文化共生課 国際交流員
ディエラ・フォルトゥーナ
【インドネシア】

袋井市 協働まちづくり課 国際交流員
ディニーア・ヤングジョンソン
【アメリカ合衆国】

⬆筒(つつ)に 火薬(かやく)を 入(い)れて 竹(たけ)で 結(むす)んだ 手作(てづく)りの 花火(はなび)を 空(そら)に あげる ビデオ(びでお)を 見(み)て 驚(おどろ)いた

⬆夢(ゆめ)や 希望(きぼう)が いっぱいの 大龍勢(おおりゅうせい) ※前(まえ)に あげた 時(とき)の 写真(しゃしん)

殿
との

藤枝市岡部町殿

●車／東名高速焼津ICから県道210号線経由(約20分)、新東名高速藤枝岡部ICから県道210号線経由(約10分)
●電車・バス／JR焼津駅からしずてつジャストライン焼津岡部線「藤枝市役所岡部支所」→藤枝市自主運行バス「殿」下車

殿地区周辺ではお茶栽培が盛んで、朝比奈玉露は日本三大玉露の一つです。また、2年に一度、満開のコスモス畑の中で行われる静岡県指定無形民俗文化の「朝比奈大龍勢」や、鐘を鳴らしながら畦道に立てた松明に火を灯して害虫を防除する「虫送り」といった伝統行事が行われています。

むらとりっぷ Mura trip in

南駿エリア

「ふじのくに美しく品格のある邑」をエリアごとに案内する「むらとりっぷ」。
今号は、滋味豊かな食材の宝庫として知られる南駿エリアを紹介します。
自然、伝統、文化とともに味わえば、身も心も春の風に吹かれるように軽くなります。

1 一面に広がる満開のひまわり！

浮島
浮島ひまわりらんど

沼津市平沼の「浮島ひまわりらんど」では、例年7月下旬から9月上旬にかけて約2万本のヒマワリが見頃を迎えます。約3500平方メートルの休耕田に、浮島地区環境保全推進会が植えたヒマワリも来訪者を歓迎します！

沼津市平沼352-1（浮島ひまわりらんど）
☎055-968-1322（浮島地区センター）
●期間／7月下旬～8月上旬
●料金／無料
●交通／［車］新東名高速駿河湾沼津スマートICから約7分

ヒマワリは一方向に向いて咲いています。美しい後ろ姿も必見です！

2 新鮮な野菜即売＆食育推進のイベント

久米田
農業祭

地域の味覚に出会える催し物が目白押し！

農業祭は清水町役場の正面駐車場で毎年行われる恒例イベント。新鮮野菜の品評会や即売、新米の販売に加え、飲食コーナーが並びます。様々な食育推進イベントも用意されています。

駿東郡清水町堂庭210-1
☎055-981-8239（清水町産業観光課）
●開催／11月下旬
●交通／［車］東名高速沼津ICから約15分
［電車・バス］JR三島駅から東海バスで約20分

3 江戸時代に掘られた水路トンネル

深良地区
深良用水

芦ノ湖の水を静岡県側へ流すために、1666年から約4年の歳月をかけて湖尻峠の下に掘られたトンネル。かんばつに苦しむ農民を救ったと伝わります。現在は、用水を使った水力発電が行われ、深良側出口には「深良用水300年記念碑」も立っています。

裾野市深良（下記ウェブページから確認をお願いします）
☎055-994-0145（裾野市生涯学習課）
●交通／［車］東名高速裾野ICから約20分

裾野市では、立ち入ることのできない深良用水トンネル内部を360°カメラで撮影、映像を公開しています。
深良用水隧道内VR動画

4 ミネラルが豊富な土で育った美味しい野菜

三島箱根西麓地区
箱根西麓三島野菜

清らかな空気と日差しをたっぷり浴びて育つ野菜は、美しい景観も描きます。レタス、セロリ、葉生姜、三島馬鈴薯、人参、ブロッコリー、大根、甘藷、白菜など種類も豊富。JA富士伊豆の農産物直売所フレッシュ錦田店、函南店、北上店で購入できます。

三島市谷田141-1（錦田店）
☎055-972-0134
●時間／9:00～18:00
●休館／年末年始（12/31～1/4）
●交通／［車］伊豆縦貫道三島塚原ICから約10分

地元の人たちはもちろん、観光客にも大人気。

多品目・高品質と言われる箱根西麓三島野菜。安全・安心・鮮度も抜群！

5 長泉町の特産品が詰まったメンチカツ

上長窪地区
長泉あしたかつ

愛鷹山麓の広大な大地と富士山の豊富な湧水で育ち、全国表彰もされたブランド牛肉「あしたか牛」のメンチカツ。野菜は長泉町産。「明日、勝つ！」という験担ぎで、受験や試合を控えた人たちに大人気です。旨味もぎっしり！

駿東郡長泉町下土狩973-38
☎055-986-0685（【長泉あしたかつ推進協議会】長泉町商工会内）
●購入できる場所の例／JAなんすんファーマーズ長泉産直市
●時間／9:00～17:00　●定休日／毎月第2水曜日・年末年始
●4個入り（1個60g）650円（税込）

精肉店やスーパーで販売中。地域の人にとって身近な存在です。

6 大地が育んだ食と体験でリフレッシュ！

丹那
酪農王国オラッチェ

ヒツジ、ヤギ、ウシ、ウサギなどのかわいい動物にエサやりをして触れ合うことができます。レストランや野外バーベキューなどでおいしい料理を楽しむことも。さらに、乳しぼり・季節の野菜の収穫といった各種体験も充実しています。

田方郡函南町丹那349-1 ☎055-974-4192
●時間／平日10:00～16:00、土日祝9:00～17:00
レストランは土日祝日のみ11:00～15:00（ラストオーダー14:30）　●休日／水曜
●交通／［車］東名高速沼津ICから約30分　［電車］JR函南駅・熱海駅・伊豆箱根鉄道大場駅からタクシーで約20分

農事体験やふれあい動物広場など楽しい自然体験ができます！

7 伊豆の新鮮食材が集まる食のテーマパーク

中郷地区
伊豆・村の駅

農産物直売所、パンケーキが話題のたまご専門「TAMAGOYA」、新鮮な魚介類を販売する「おさかな市場」など、それぞれの店舗が食を通して伊豆の文化や歴史、伝統を伝える多彩な仕掛けを盛り込み、訪れた人を温かく迎えてくれます。

三島市安久322-1
☎0120-54-0831
●時間／9:00～17:00　年中無休
●交通／［車］東名高速沼津ICから約15分
※新型コロナウイルス感染予防の取り組みにご協力をお願いします。

伊豆への観光客はもちろん、地元の人も普段使いの感覚でやって来ます。

8 昔ながらの美しい里山風景を再生！

山田川自然の里
山田川自然の里

日本の農村風景が色濃く残される山田川自然の里は、地元有志による年間を通じた里山づくりで、景観や環境が保全されています。各種農園で野菜づくりを体験できるほか、山田川沿いに整備された散策路で昔の里山風景を楽しむことも。

三島市川原ヶ谷（右ウェブページから確認をお願いします）　☎055-983-2652（三島市農政課）
●交通／［車］東名高速沼津ICから20分
［電車・バス］JR三島駅南口から東海バス「元箱根港」行き「塚原」下車、徒歩約10分

棚田では四季折々の里山作業体験ができます！

9 桜と菜の花と富士山の共演に感動

パノラマ遊花の里
菜の花と桜が見頃

「パノラマ遊花の里」周辺の市道「パノラマロード」沿いにある菜の花は、4月中旬から下旬が見ごろ。沿道の桜並木とともに鮮やかなコントラストが爽快です。周辺には、梅やアジサイなども植栽され、9月上旬から下旬にかけて咲く可憐なコスモスも魅力。

裾野市須山3409
☎055-992-5005（裾野市観光協会）
●期間／4月上旬～中旬
●交通／［車］東名高速裾野ICから約10分

雪景色の富士山がくっきり見える青空に菜の花が見事に映えます！

お越しいただく皆さまへお願い

❶「三密」を避けて！ ❷マスクの着用！消毒への御協力を！ ❸少しでも体調の悪い人は来場をやめよう！

※各イベントは、新型コロナウイルス感染症の状況により、急遽、変更・中止となる場合があります。

Event Calender 邑のイベントカレンダー 2022 令和4年 spring

東部 中部 西部 伊豆

July 7月～

森町 森町南部
6月中旬～7月下旬
香勝寺の桔梗が見頃
4万本が咲く日本一の桔梗園が見頃
🏠鹿苑山 香勝寺　周智郡森町草ヶ谷968
Ⓟ無料駐車場あり　問香勝寺 ☎0538-85-3630
◎マスクの着用をお願いします。
◎体調の優れない方は来場をご遠慮ください。

川根本町 けっこい瀬平
7/14(木)
「平谷の流し焚」奉納（町文化財指定）
水害、水難防止、併せて農業振興を祈願する。
🏠平谷の河川（大井川） 川根本町瀬平区
問瀬平けっこにせっ会 事務局長：原田
☎0547-56-0681

浜松市 美竹林と極旨野菜の邑
7月中旬
流しそうめん体験 ※中止可能性あり
本物の竹を使った樋で流しそうめん。旬の野菜の天ぷらも一緒に楽しめる。
🏠緑の谷のごちそうテラスCoCoChi 体験テラス
浜松市西区大久保町1173
問木下 ☎053-482-3768
●参加費／11歳以上2,000円、10歳以下1,000円、2歳以下無料
◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いします。
◎体調の優れない方は来場をご遠慮ください。
◎スタッフの体調チェックとマスク着用を実施しています。

毎月開催イベント

浜松市 地域いきいき共生！恩地町環境みどり会
毎月第3日曜 9:00～9:30 **みどり朝市**
浜松市認定登録：農産物直売所「新鮮・安全・安～い」
🏠恩地町公会堂駐車場
浜松市南区恩地町443 恩地町公会堂駐車場
Ⓟ無料駐車場あり
問担当：見野 ☎053-426-2888
◎マスクの着用をお願いします。
◎スタッフのマスク着用を実施しています。

伊豆市 伊豆月ヶ瀬梅の里
6月上旬 **観光梅狩り**
※実施の可否は5月初旬に判断
梅林内のお好みの梅を収穫し、買い上げ
🏠月ケ瀬梅林 伊豆市月ケ瀬
問伊豆月ケ瀬梅組合 ☎0558-85-0480
●料金／梅1kgの金額未定
◎スタッフのマスク着用を実施しています。

森町 一の宮の里
6月上旬（花見頃6月上旬～7月下旬）
※1カ月前に開催判断
花菖蒲まつり 花菖蒲見頃
🏠小國神社 森町一宮3956-1
Ⓟ無料駐車場あり、シャトルバスあり
問小國神社 ☎0538-89-7302
◎マスクの着用をお願いします。 ◎密を避けてください。

森町 天方
6月上旬～ **太田川水系の鮎釣り** 清流での鮎の友釣りが解禁
🏠太田川（6/1）、吉川・三倉川（6/25）
問太田川漁協 ☎0538-85-3080

森町 森町南部
6月上旬～7月下旬
スイートコーン収穫時期
行列ができる朝採りスイートコーンの直売
🏠森町内の各直売所
問森町役場産業課 ☎0538-85-6315

湖西市 新所水とみどりのプロジェクト
6/12(日) **あじさいまつり**
※感染拡大の場合中止の可能性あり
自然観察会（講師の話を聞きながらコースのウォーキング） ※詳細検討中
🏠湖西市立東小学校
湖西市新所680
Ⓟ無料駐車場200～400台（案内看板あり）
問新所水とみどりのプロジェクト 代表：木本忠義
☎090-1274-4183 ●参加無料

◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いします。
◎体調の優れない方は来場をご遠慮ください。

御殿場市 沼田ロマンチック街道
6月中旬(土・日) **ホタル観賞会**
※1カ月前に開催判断
邑育ちのホタルを鑑賞。菖蒲の花も見頃で周りを舞うホタルが見られる。
🏠沼田区集会場付近 御殿場市沼田191
問沼田ロマンチック街道育成会（代表：根上孝吉）
☎090-7859-3570
◎マスクの着用をお願いします。
◎スタッフのマスク着用を実施しています。

富士宮市 白糸の里
5月下旬 **田植え体験** ※実施の可否は5月上旬ごろに判断
平成棚田で農業体験。白糸コシヒカリの手植え・機械植えを体験。植えたお米の販売予約承ります。
🏠平成棚田
富士宮市原 Ⓟ平成棚田駐車場（無料）
問ふじのくに美しく品格のある邑 白糸の里 予約受付・お問い合わせはメールで
uikuniaki@shiraitonosato.info
●参加費／1組5,000円、収穫米10kg進呈 ●昼食等飲食はなし ●30組限定（メールで予約）
※詳細は白糸の里ホームページ参照→
◎マスクの着用をお願いします。
◎体調の優れない方は来場をご遠慮ください。

富士宮市 白糸の里
5月下旬 **ウォーキング大会**
※実施の可否は5月上旬ごろに判断
田植え後の平成棚田周辺6kmのコースを3時間かけ名所を観ながら歩く。
🏠原川親水公園記念碑前（スタート/ゴール）
富士宮市原 Ⓟ白糸小学校駐車場（無料）
問ふじのくに美しく品格のある邑 白糸の里
予約受付・お問い合わせはメールで
uikuniaki@shiraitonosato.info
●参加費無料、予約必要なし
●昼食等飲食はなし
※詳細は白糸の里ホームページ参照→
◎マスクの着用をお願いします。
◎体調の優れない方は来場をご遠慮ください。

June 6月～

伊豆市 いずのやね茅野
6月5日(日) 9:00～16:00 **黒米田植え体験**
茅野の黒米を植えるお手伝いをしてくださる方を募集中。
※天候・苗の生育状況により日程は前後します。
🏠伊豆市湯ケ島 茅野地区
問いずのやね茅野 はちくぼ会:山本 ☎090-2268-7989
●参加費／1,500円（昼食・飲み物支給あり、お土産つき）

焼津市 方ノ上美農里
6月上旬 **サツマイモの蔓挿し・トウモロコシの苗植え付け** 参加者募集中
サツマイモの蔓挿し、トウモロコシの苗植えを行う。
🏠閻魔堂（集合） 焼津市方ノ上
問方ノ上美農里 事務局：平井 ☎054-629-1607
●参加無料
◎マスクの着用をお願いします。

掛川市 深蒸し茶と東海道宿場の里日坂
4月下旬の日曜日又は祝日
新茶ウォーク ※4月初旬に開催判断
新茶シーズンの中日坂地区内を2コースに分け楽しむ
Aコース／東海道日坂宿と茶どころ散歩、事任八幡宮めぐり
Bコース／茶どころ御林、粟ケ岳山麓めぐり
※イベント内容は検討中
🏠日坂宿 本陣跡
掛川市日坂 Ⓟ日坂本陣跡駐車場を利用（無料）
問日坂地区まちづくり（協） 旅ノ舎地域振興部会
☎0537-54-1464 ●参加費／100円（保険代）
◎マスクの着用をお願いします。
◎大きな声での会話は控えてください。
◎スタッフのマスク着用を実施しています。

May 5月～

森町 天方
5月中旬 ※今後実施の可否を判断
オープンハウス ぶぶふの日
人・自然の暮らしぶりを味わう里山めぐり
🏠天方地区
森町体験の里アクティ森（案内所）
森町問詰1115-1
問森町ツーリズム研究会 ☎0538-85-6315

浜松市 美竹林と極旨野菜の邑
5月中旬 **梅ジュース作り体験**
CoCoChiの梅林で梅狩り・ジュースづくり体験。ホワイトリカー持参で梅酒も作れる。
🏠緑の谷のごちそうテラスCoCoChi 体験テラス
浜松市西区大久保町1173
問木下 ☎053-482-3768
●参加費／11歳以上2,500円、10歳以下1,500円、2歳以下無料
◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いします。
◎体調の優れない方は来場をご遠慮ください。
◎スタッフの体調チェックとマスク着用を実施しています。

焼津市 中の島
5月中旬 **田植え体験**
地域内の幼稚園児・子供会対象で田植えを行う。
🏠上小杉公園 北側 焼津市上小杉
問中の島地域環境保全活動組織事務局：岡村
☎054-662-1391 ●見学可能
◎マスクの着用をお願いします。

伊豆市 いずのやね茅野
5月中旬 9:00～16:00 **麦収穫体験**
初夏の自然の中での収穫体験。※天候・生育状況により変更となる場合があります。
🏠伊豆市湯ケ島 茅野地区
問いずのやね茅野 はちくぼ会:山本 ☎090-2268-7989
●参加費／1,500円（昼食・飲み物支給あり、お土産つき）

森町 一の宮の里
4月上旬（花見頃3月下旬～4月上旬）
小國神社桜まつり ※1カ月前に開催判断
琴・尺八の音色を聴きながら花見
🏠小國神社 森町一宮3956-1
Ⓟ無料駐車場あり、シャトルバスあり
問小國神社 ☎0538-89-7302
◎マスクの着用をお願いします。
◎密を避けてください。

森町 一の宮の里
4月中旬
小國神社十二段舞楽 ※1カ月前に開催判断
国指定重要無形民俗文化財に登録された十二段舞楽の舞
🏠小國神社 森町一宮3956-1 Ⓟ無料駐車場あり
問小國神社 ☎0538-89-7302
◎マスクの着用をお願いします。
◎密を避けてください。

伊豆市 いずのやね茅野
4月16日(土) 9:00～16:00 **薪割り体験**
自然を活用した暮らしの体験ができる。※天候により変更となる場合があります。
🏠伊豆市湯ケ島 茅野地区
問いずのやね茅野 はちくぼ会:山本 ☎090-2268-7989
●参加費／1,500円（昼食・飲み物支給あり、お土産つき）

伊豆市 いずのやね茅野
4月上旬～5月中旬（土・日・祝）9:00～16:00
米作り体験（草刈り・田起こし・代掻き・田植え）
田植えまでの様々な作業に参加できる。※天候・苗の生育状況により日程は前後します。
🏠伊豆市湯ケ島 茅野地区
問いずのやね茅野 はちくぼ会:山本 ☎090-2268-7989
●参加費／1,500円（昼食・飲み物支給あり、お土産つき）

三島市 中郷地区
4月29日(金・祝) 10:00～
安久お花畑音楽会 ※雨天時当日判断
稲刈りを終えた田んぼにワイルドフラワーを植え、その花畑で地元中学校の吹奏楽や三味線の演奏、合唱などのコンサートを開催。ワイルドフラワー等の花摘みもできる。
🏠日大御園グラウンド東側 三島市御園569-1
問三島市役所 農政課 ☎055-983-2654
◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いします。
◎体調の優れない方は来場をご遠慮ください。
◎スタッフのマスク着用を実施しています。

April 4月～

富士宮市 内房の里
4月3日(日) **内房たけのこ桜まつり**
※当日6時に開催判断
旬に先駆けてたけのこを販売。地域内4カ所の会場で来場者をおもてなし。
🏠富士宮市内房地域
Ⓟ無料駐車場あり
問内房里づくりの会事務局：鈴木隆
☎090-5623-9599
◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いします。
◎密を避けてください。
◎スタッフのマスク着用を実施しています。

浜松市 美竹林と極旨野菜の邑
4月上旬 **旬の筍掘り体験**
※感染拡大の場合中止の可能性あり
CoCoChiの竹林に生える旬の筍掘り。体験後、料理を楽しむ。
🏠緑の谷のごちそうテラスCoCoChi 体験テラス
浜松市西区大久保町1173
問木下 ☎053-482-3768
●参加費／
11歳以上 2,500円、
10歳以下 1,000円、
2歳以下無料
◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いします。
◎体調の優れない方は来場をご遠慮ください。
◎スタッフのマスク着用を実施しています。

あなたのご意見をお聞かせください

〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課
FAX 054-221-2809
E-mail：nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢をご記載ください。
※頂いたご意見は次号以降で掲載させていただく場合があります。
※個人情報は、連絡のため以外には使用いたしません。